

会議資料に係る意見と事務局回答

Q. A 委員

小児科の診療体制をどうするかが、議題になると思います。

行政が柔軟に対応できるなら、一旦、繁忙期においても 1.5 診にすることを考えて良いと思います。(感染症などによる受診が増えたときに、繁忙期を 2 診にすみやかに戻すことができるなら。)

また、通常診療において発熱時の別室診療の必要性がないなら、1 診でも良いかもしれませんが、ただし、1 診にするなら、3 交代にすることを考えてください。(6 時間を一人で診るのは長すぎます。)

A. 事務局

新年度の診療体制につきましては、毎年度診療体制調整会議で協議していただき方針を決定しているものです。しかしながら、委員から診療体制の御意見をいただいたことから、次期診療体制調整会議(令和 4 年 6 月頃開催予定)の議題として協議させていただきます。

Q. B 委員

インフルエンザ患者の休日急病診療所受信状況は令和 3 年度に至って 1 人となっていますが、どうした理由からでしょうか、わかる範囲で教えてください。

コロナもやや下火になっているように思われますが、そろそろ通常会議にしてもいいんじゃないでしょうか、ご検討をお願いします。

A. 事務局

インフルエンザの感染症が極端に減少した理由の一つに、新型コロナウイルス感染症が流行したことが原因と思われます。コロナ禍による感染症対策としてマスクの着用と手洗いやアルコールによる手指消毒の徹底、更にはソーシャルディスタンスを意識し人と人との接触が少なくなったことがインフルエンザの流行が抑えられた要因と推測しています。

また、書面会議が継続していますことに対しましてお詫び申し上げます。委員皆様の安全確保を第一に考えていますことに御理解をいただきますようお願いします。

新年度は、実務会議が開催できますことを望んでいます。

以 上